

第40回日本中毒学会総会・学術集会
プログラム

7月20日(金)

第1会場(特別会議室)

8:50~9:00

開会式

9:00~10:10

一般演題1

【アルコール・乱用薬物等】

座長

自衛隊中央病院救急科 西山 隆
新潟市民病院薬剤部 堀 寧

- 01-01** 保冷剤の誤食によって生じたプロピレングリコール中毒の一例
神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター 井上 彰
- 01-02** アニオンギャップ開大性代謝性アシドーシスと意識障害から判明した急性メタノール・エチレングリコール中毒の一例
健和会大手町病院救急科 秋田 大輔
- 01-03** 急性アルコール中毒の治療について
高知医療センター救命救急科 畠中茉莉子
- 01-04** 偶発性低体温症により心室細動で搬送された覚醒剤中毒の1例
東京女子医科大学東医療センター救命救急センター 出口 善純
- 01-05** 意識障害とセロトニン症候群様症状を呈した急性メラトニン中毒の1例
昭和大学藤が丘病院救急医学科 宮本 和幸
- 01-06** ナイアシンフラッシュ
札幌医科大学医学部救急医学講座 喜屋武玲子
- 01-07** いわゆる健康食品中の無承認無許可医薬品成分含有調査について
国立医薬品食品衛生研究所生薬部 最所 和宏

【ドーピングの中毒学・毒性学】

座長 国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター・毒性部 北嶋 聡
順天堂大学医学部附属練馬病院 杉田 学

JSY-1 我が国のアンチ・ドーピング政策について

スポーツ庁 星 香里

JSY-2 スポーツにおけるアンチ・ドーピング

丸紅健康開発センター 山澤 文裕

JSY-3 ドーピング検査における技術の進歩と法的配慮

カタール・アンチドーピング検査所／日本薬科大学 植木 眞琴

【肝移植研究会 臓器提供推進セミナー】

座長 大阪大学医学部保健学科 梅下 浩司

LS-1-1 ドクツルタケの誤食により急性肝不全に陥った2症例

福島県立医科大学地域救急医療支援講座 小野寺 誠

LS-1-2 日本の脳死移植の課題と対策

神戸大学肝胆膵外科学 福本 巧

共催：大阪大学医学部附属病院移植医療部

座長

大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 嶋津 岳士

II Medical Toxicology as a Subspecialty in USA — Suggestions for Japanese Colleagues

Center for Toxicology and Pharmacology Education and Research, University of Arizona College of
Medicine-Phoenix, Phoenix, Arizona USA

Daniel E Brooks

【中毒診療におけるモニタリングと全身管理】

座長

筑西市医療監 水谷 太郎

近畿大学医学部奈良病院救命救急センター 丸山 克之

PD-1-1 重症患者のモニタリングに関する最近の話題

大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 吉矢 和久

PD-1-2 遅発性に出現した致死的心毒性で PCPS 管理を余儀なくされたフェニトイン中毒の一例

藤枝市立総合病院救命救急センター救急科 山森 温

PD-1-3 ドスレピン塩酸塩の過量内服後に無脈性心室頻拍と痙攣重積をきたした 1 例

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター 畠中 健吾

PD-1-4 遅発性メトヘモグロビン血症を来した有機溶剤中毒の一例

株式会社日立製作所日立総合病院救急集中治療科 奈良場 啓

PD-1-5 PCPS にて救命し得た覚醒剤中毒の一例

奈良県総合医療センター救命救急センター 正田 光希

PD-1-6 当センターにおける炭酸リチウム中毒の検討

近畿大学医学部救急医学 中尾 隆美

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社／GE ヘルスケア・ジャパン株式会社／
日本光電工業株式会社

【CO・工業用品】

座長

北里大学病院薬剤部 近藤留美子
大阪急性期・総合医療センター救急診療科 藤見 聡**O4-01** 重症度評価が困難であった複数 CO 中毒症例

熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部 金子 唯

O4-02 当院における一酸化炭素中毒の 1 症例から高圧酸素療法の効果判定となる高次脳機能評価について考察する

日本医科大学高度救命救急センター／日本医科大学総合診療センター 宮内 雅人

O4-03 頭部 MRI で異常所見を呈した一酸化炭素中毒症例の検討

高知赤十字病院救命救急センター 原 真也

O4-04 練炭こたつによる急性一酸化炭素中毒症例の検討

福島県立医科大学地域救急医療支援講座 小野寺 誠

O4-05 室内火災現場から救出され、致死濃度の血中シアン濃度を呈したが救命し得た 1 例

聖路加国際病院救急部・救命救急センター 磯川修太郎

O4-06 呼吸停止直前で搬送となり、経過中に CO-Hb が上昇したジクロロメタン中毒の 1 例

大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター 江崎麻衣子

第2会場（会議室 1202）

9:00～10:30

一般演題 2

【農薬中毒・医薬品 1】

座長

新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター 廣瀬 保夫
国立国際医療研究センター病院救命救急センター救急科 小林憲太郎

02-01 致死経過を辿ったカーバメイト中毒の一例

高知医療センター救命救急センター 盛實 篤史

02-02 タコツボ心筋症を合併したカーバメイト中毒症例の一例

順天堂大学医学部附属静岡病院救急診療科 近藤 彰彦

02-03 都市部の救命救急センターに搬送された有機リン中毒 10 例の検討

杏林大学医学部救急医学 吉川 慧

02-04 尿中パラコート陰性の軽症パラコート中毒が疑われた一例

日立総合病院救急集中治療科 本木麻衣子

02-05 グリホサートイソプロピルアミン酸（ラウンドアップ）による急性中毒の 2 例

医療法人健康会霧島記念病院救命救急科 徳重 宏二

02-06 眼球クローヌスと振戦症状を認めた睡眠改善薬および乗り物酔い防止薬による中毒の一例

獨協医科大学病院救命救急センター 飯田 茉李

02-07 乗り物酔い防止薬および睡眠改善薬の大量服用により中毒症状を呈した自殺企図の 2 症例

大分市医師会立アルメイダ病院薬剤部 佐藤 史織

02-08 発生報告の稀なデキストロメトルファン（DXM）による急性中毒例の報告

野崎徳洲会病院救急センター 千代 孝夫

02-09 総合感冒薬の過量内服により、アセトアミノフェン中毒を始めとした多彩な症状を呈し、集学的治療を行ったが救命できなかった一例

医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院救急科 佐藤 洋祐

【医薬品 2】

座長

社会医療法人緑泉会米盛病院救急科 富岡 譲二
東京医科大学病院薬剤部 添田 博

- 03-01** フェキソフェナジン大量内服 (3600 mg) の一例
武蔵野赤十字病院 相原 史子
- 03-02** 当院で経験した LD₅₀ 比 50% 以上内服の急性リチウム中毒 2 例の検討
杏林大学医学部救急医学 荻野 聡之
- 03-03** タンドスピロンクエン酸塩を過量内服した 1 症例
飯塚病院集中治療部 豎 良太
- 03-04** 特発性食道破裂を合併した向精神薬中毒剖検例
福島県立医科大学医学部法医学講座 加藤 菜穂
- 03-05** 意識障害を伴う大量ラモトリギン中毒に血液灌流療法をおこなった一例
飯塚病院集中治療部 平松 俊紀
- 03-06** 短時間作用型吸入 β 2 刺激薬の過量使用による低カリウム血症を起こした小児の 1 例
山梨県立中央病院救命救急センター 河西 浩人
- 03-07** シスプラチンと造影剤使用の後に Cre 最大値 9.7 mg/dl の急性腎障害が出現した一例
日立総合病院救急集中治療科 / 東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部 島田 敦
- 03-08** 苓桂朮甘湯の常用量服用により偽性アルドステロン症・横紋筋融解症をきたした一例
大阪警察病院臨床研修医指導センター 甲斐 裕樹
- 03-09** アシクロビル脳症の 1 例 — 腎機能障害下でのアシクロビル投与に関する考察
大阪大学医学部附属病院薬剤部 松井 浩子

【クリニカルトキシコロジスト認定 / 更新セミナー】

座長

公益財団法人日本中毒情報センター 黒木由美子

LS-2 中毒情報の検索方法

公益財団法人日本中毒情報センター 三瀬 雅史

【日本中毒情報センターの役割を考えるートキシコビジランス活動を中心にー】

座長

森ノ宮医療大学 吉岡 敏治
救急救命九州研修所 郡山 一明**PD-2-1** 行政・企業と日本中毒情報センターとの連携（経緯と現状報告）

公益財団法人日本中毒情報センター 波多野弥生

PD-2-2 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する取組について（モニター報告制度を中心に）

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室 蓮見 由佳

PD-2-3 消費者向け製品の安全性監視活動における日本中毒情報センターと企業との連携

フィリップモリスジャパン合同会社コーポレートアフェアーズ 村上 恭子

PD-2-4 農薬工業会の活動と JPIC の役割

農薬工業会安全広報部 加藤 純

PD-2-5 救命救急センターから見た日本中毒情報センターからの情報提供と症例収集

福島県立医科大学附属病院高度救命救急センター 伊関 憲

PD-2-6 JPIC の情報提供・症例収集のあり方（小児救急受入施設の立場から）

社会医療法人真美会中野こども病院 木野 稔

PD-2-7 薬剤師と JPIC との連携

たんぽぽ薬局株式会社 森 博美

【医薬品 3】

座長

聖路加国際病院救急部・救命救急センター 大谷 典生
山形大学大学院医学系研究科医学専攻 小澤 昌子**05-01** 血中濃度が致死域であった重症カフェイン中毒の 2 例

岩手医科大学医学部救急・災害・総合医学講座救急医学分野 藤野 靖久

05-02 急性カフェイン中毒患者における血液透析法と血液灌流法の比較

埼玉医科大学病院薬剤部／埼玉医科大学病院救急センター・中毒センター 芳澤 朋大

05-03 二峰性に致死のカフェイン血中濃度を示した急性カフェイン中毒の 1 例

大阪急性期・総合医療センター救急診療科 小館 旭

05-04 テオフィリン血中濃度が正常であったカフェイン中毒の一例

日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野 堀 智志

05-05 自殺サイトを参考に市販薬を過量内服し、致死のカフェイン中毒をきたした 14 歳女児例

沼津市立病院小児科 能登 孝昇

05-06 当院救命センターにおけるカフェイン中毒の現状と常駐薬剤師の活動

藤田保健衛生大学病院薬剤部／藤田保健衛生大学医学部臨床薬剤科 廣瀬 正幸

第3会場（会議室 1101-2）

15：40～17：40

分析委員会ハンズオンセミナー

【CBRN：脅威と対応に関するセミナー】

司会

岩手医科大学 藤田 友嗣
東北大学 白井 聖尊

ポスター会場 (ホワイエ)

15:10～15:50

ポスター 1

座長

順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科 岡本 健
聖路加国際病院救急部 一二三 享

P01 急性腎不全をきたした Grade IV のマムシ咬傷に対して CHDF が有効であった一例
社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院救命救急センター救急科 井上 智博

P02 ヤマカガシ毒のヒトプロトロンビン活性化作用
名城大学薬学部微生物学研究室 小森由美子

P03 シキミ中毒の 1 例
岡山済生会総合病院救急科 本郷 貴識

P04 コルヒチン含有植物中毒に活性炭吸着は有効か
—コルヒチンおよび含有植物の *in vitro* 活性炭吸着実験—
北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター中毒学 林 もも香

15:10～16:00

ポスター 2

座長

広島大学大学院医歯薬保健学研究科法医学 奈女良 昭
昭和大学横浜市北部病院薬局 峯村 純子

P05 急性薬物中毒症例における定性分析結果が入院期間に与える影響
東邦大学医療センター大森病院薬剤部／東邦大学薬学部臨床薬学研究室 花井 雄貴

P06 GC/MS 法薬毒物データベースを用いた薬剤部中毒測定と空包の比較検討
帝京大学医学部附属病院薬剤部 今中 翔一

P07 法医薬物スクリーニング分析結果集計の比較：千葉大学および東京慈恵会医科大学の法医解剖事例について
東京慈恵会医科大学法医学講座 前橋 恭子

P08 タバコ製品に含まれるニコチン含量の変遷
—紙巻きおよび無煙タバコ製品のニコチン含量の測定—
北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター中毒学 栗原 良知

P09

学会機関誌「中毒研究」から紐解く日本中毒学会の歴史
— 日本中毒学会の年表の更新 —

中毒歴史研究会（日本中毒学会分科会） 福本真理子

7月21日(土)

第1会場(特別会議室)

8:30~10:10

シンポジウム

【Tokyo2020 コンソーシアムと中毒学会の取り組み】

座長

東京大学大学院医学系研究科救急科学 森村 尚登
杏林大学医学部救急医学 山口 芳裕

SY-1-1 東京オリンピック・パラリンピック 2020 におけるコンソーシアムと本学会の役割

日本医科大学付属病院高度救命救急センター、厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)
「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会にむけて」研究班 横田 裕行

SY-1-2 東京都医師会の取り組み

公益社団法人東京都医師会 新井 悟

SY-1-3 DMATの取り組み

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター救命救急センター 若井 聡智

SY-1-4 伊勢志摩サミットにおける化学テロ対策の今後の課題

筑西市、公益財団法人日本中毒情報センター 水谷 太郎

SY-1-5 東京オリンピック・パラリンピック 2020 を想定した化学災害事例に対する救急医療施設の対応力調査(日本中毒学会)

武蔵野赤十字病院救命救急センター 須崎紳一郎

10:20~11:40

特別企画 1

【40回を記念して~中毒学会40年の思い出と後進に託す想い~】

座長

武蔵野赤十字病院救命救急センター 須崎紳一郎
北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター中毒学研究室 福本真理子

SP-1-1 急性中毒研究会から日本中毒学会へー中毒学会前史

兵庫県災害医療センター 鵜飼 卓

SP-1-2 印象に残る症例と学会運営の思い出

静智会記念病院 黒川 顕

SP-1-3 日本中毒学会メンバーの多様性への想い：35年間会員の立場から

麻布大学 赤堀 文昭

SP-1-4 日本中毒学会の来し方行く末：現状と将来展望を彷彿として

日本中毒学会代表理事、武蔵野赤十字病院・救命救急センター長 須崎紳一郎

11:50～12:50

ランチタイムセミナー 3

【クリニカルトキシコロジスト認定／更新セミナー】

座長

埼玉医科大学病院救急センター・中毒センター 上條 吉人

LS-3 カフェイン中毒の臨床

順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科 杉田 学

13:00～14:00

特別企画 2

座長

公益財団法人日本中毒情報センター大阪中毒110番 遠藤 容子

SP-2 Toxicology for all ～安全な社会を守るために、海外から学ぶ～

株式会社重松製作所 濱田 昌彦

14:00～15:00

教育講演

座長

福島県立医科大学医学部救急医療学講座 伊関 憲

EL 新たな脅威となっている化学物質－G剤／V剤に次ぐ化学剤

環境省大臣官房環境保健部環境安全課環境リスク評価室 中村 勝美

15:00～17:00

急性中毒標準治療ワークショップ

【急性中毒の標準治療 改訂の論点】

座長

順天堂大学医学部附属練馬病院 杉田 学

帝京大学医学部救急医学講座 坂本 哲也

コメンテーター

武蔵野赤十字病院 須崎紳一郎

WS-1-1 全身管理

筑波大学附属病院救急・集中治療部 井上 貴昭

WS-1-2 吸収阻害

日本医科大学高度救命救急センター 宮内 雅人

WS-1-3 排泄促進

順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科 杉田 学

WS-1-4 解毒剤・拮抗剤

公益財団法人日本中毒情報センター 三瀬 雅史

17:00～17:10

閉会式

第2会場（会議室 1202）

8:30～10:10

一般演題 6

【自然毒】

座長

さいたま赤十字病院救命救急センター 清田 和也
たんぼほ薬局株式会社 森 博美

O6-01 海洋生物咬刺傷（ハブクラゲ、オニダルマオコゼ）の臨床的特徴（研究計画） —事例検討・研究委員会報告—

日本中毒学会事例検討・研究委員会マムシ咬傷などの後ろ向き多施設共同調査小委員会 一二三 亨

O6-02 マムシ抗毒素血清の有効性に関する検討

長崎大学病院高度救命救急センター 山野 修平

O6-03 「マムシ咬傷に対するプレホスピタルでの対処法および医療施設での治療法、および予後についての実態調査」の報告

日本中毒学会事例検討・研究委員会マムシ咬傷などの後ろ向き多施設共同調査小委員会 中谷 宣章

O6-04 マムシ抗毒素療法に対する施設内指針に関する検討—マムシ抗毒素血清の有用性に関する多施設共同研究より—

近畿大学医学部救急医学講座 太田 育夫

O6-05 マムシ抗毒素血清療法の効果に関する検討 —マムシ抗毒素血清の有用性に関する多施設共同研究より—

近畿大学医学部救急医学講座 北澤 康秀

O6-06 マムシ咬傷における C-reactive protein の臨床的意義

順天堂大学医学部附属静岡病院救急診療科 竹内 郁人

O6-07 呼吸筋麻痺により人工呼吸管理を要した二枚貝摂取による貝中毒の1例

堺市立総合医療センター救急外科 山田 元彦

O6-08 コショウイグチ摂食による舌のしびれと咽喉頭の灼熱感：症例報告

社会医療法人財団慈泉会相澤病院救命救急センター 山本 基佳

O6-09 キョウチクトウ中毒のため完全房室ブロックを生じた一例

順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科 入山 大希

O6-10 ヒョウタン摂取によりククルビタシン中毒をきたした 1 例

関西医科大学救急医学講座 丸山 修平

10:10 ~ 11:40

パネルディスカッション 3

【臨床検査と薬毒物分析 - なぜ、臨床検査室で薬毒物を測定しないのか (その 2) -】

座長

大阪府立中河内救命救急センター 塩野 茂
近畿大学医学部附属病院中央臨床検査部 増田 詩織

PD-3-1 救命救急センターにおける中毒診療と検査

大阪府三島救命救急センター 福田真樹子

PD-3-2 大学病院検査部における薬毒物分析の現状と課題

大阪医科大学附属病院中央検査部 繁 正志

PD-3-3 三次救急医療施設における薬毒物分析の現状

日本医科大学付属病院臨床検査部 柴田 泰史

13:00 ~ 14:10

一般演題 7

【分析】

座長

茨城県警察本部刑事部科学捜査研究所 石綿 鉄也
横浜市立大学大学院医学研究科法医学 福家 千昭

O7-01 中毒起因物質に対する多施設で実用的な HPLC による定量分析法の開発

JA 長野厚生連北信総合病院薬剤部 森川 剛

O7-02 テオフィリン測定値による血中カフェイン濃度の推定

大阪府立中河内救命救急センター検査部 吉田 元治

O7-03 血中カフェイン濃度測定における探針エレクトロスプレーイオン化質量分析法とガスクロマトグラフ質量分析法の比較

埼玉医科大学病院救急センター・中毒センター 花澤 朋樹

O7-04 血中ギ酸の簡易スクリーニング法の検討 (第 2 報)

筑波大学医学医療系 増田 寛子

07-05 有機リン系農薬中毒における Phree™ を用いた前処理方法の実用化の検討
大垣市民病院薬剤部 田中 裕也

07-06 モノスピン TiO カラムによる血清中含リンアミノ酸系化合物の抽出と LC-MSMS 分析
東海大学医学部外科学系救命救急医学 齊藤 剛

07-07 救急医療施設における中毒起因薬物血中濃度測定の実状調査
日本中毒学会事例調査・研究委員会マムシ咬傷などの後ろ向き多施設共同調査小委員会 大谷 典生

14:10～15:30

一般演題 8

【診療体制・チーム医療・教育】

座長 ゆきこどもクリニック小児科／薬剤科 神原 永長
堺温心会病院救急センター 定光 大海

08-01 ER 専従薬剤師のアプローチによって臭化ジスチグミンによるコリン作動性クリーゼの早期診断に至った一例
医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院薬剤部／医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院臨床試験センター医学研究所救急研究部 齋藤 靖弘

08-02 当院における急性中毒症例に対する受け入れ体制の検討
高知医療センター救命救急センター 野島 剛

08-03 ドクヘリ搬送を行った中毒患者の検討
順天堂大学医学部附属静岡病院 柳川 洋一

08-04 急性中毒における測定項目検索システムの開発 ～情報の統一と迅速な報告を目指して～
大阪府立中河内救命救急センター検査部 黒田 舞子

08-05 中毒診療に対する苦手意識の克服にむけて～当院での中毒勉強会について～
健和会大手町病院救急科 山本 康之

08-06 当救命救急センターに関わる看護師の中毒に対する意識調査
SUBARU 健康保険組合太田記念病院救急科 山本 理絵

08-07 診療報酬改定後の薬物中毒症例数の変遷からみた、救命士に対する中毒教育の必要性の検討
大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 竹川 良介

08-08 小中高生に対する薬物教育の実態－学校薬剤師会員へのアンケートを通じて－
一宮市立市民病院救命救急センター 山口 均

15:30～16:50

一般演題 9

【基礎検討・統計】

座長 公益財団法人日本中毒情報センターつくば 110 番 高野 博徳
奈良県立医科大学救急医学教室 福島 英賢

09-01 N-アセチルシステインの *in vitro* 活性炭吸着実験－活性炭は経口解毒薬の効果を減弱するのか－

北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター中毒学 友田 吉則

09-02 急性二酸化炭素中毒モデルラット (55%) を用いたプレコンディショニング効果とそのメカニズムの検討

筑波大学救急・集中治療科 岡崎 友香

09-03 CO₂ ハイドレート含有製剤摂取時の CO₂ 中毒発症リスクに関する安全性評価

筑波大学附属病院救急・集中治療科 榎本 有希

09-04 中毒患者の推移からみる今後の中毒診療の課題

堺市立総合医療センター 森田 正則

09-05 薬物過量服用患者の年次推移に関する検討

近畿大学医学部 窪田 愛恵

09-06 薬物過量服用患者における服用薬剤の種類別危険度に関する検討

杏林大学医学部救急医学科 樽井 武彦

09-07 大都市における自殺企図手段として有毒ガスを用いた症例の実態

大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 片山 祐介

09-08 法医解剖事例に関して薬毒物分析が死因に及ぼす影響

JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院／東京大学大学院医学系研究科法医学教室 緒方 善政

17:00～17:30

クリニカル・トキシコロジスト認定試験

第3会場（会議室 1101-2）

9:00～11:40

中毒を考えよう Toxicology for all セミナー

講師

大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター

医師 竹川 良介、大西 光雄

大阪警察病院 ER・救急診療科

医師 廣瀬 智也

国立病院機構南和歌山医療センター

薬剤師 服部 雄司

【第一部】 9:00～10:15

プレホスピタルで中毒を考える

【第二部】 10:25～11:40

救急初療室で中毒を考える

ポスター会場 (ホワイエ)

14:00 ~ 14:40

ポスター 3

座長

日本医科大学高度救命救急センター 宮内 雅人
堺市立総合医療センター救命救急センター 森田 正則

- P10** アセトアミノフェンの過量服薬を3年間で18回繰り返した症例
福島県立医科大学附属病院地域救急医療支援講座/福島県立医科大学附属病院高度救命救急センター 三澤 友誉
- P11** 神経症状を伴わない洞機能不全からリチウム中毒が考えられた一例
武蔵野赤十字病院臨床研修部 竹原 慧
- P12** 高齢者の認知症治療薬による急性中毒事故の実態調査
公益財団法人日本中毒情報センター 黒川友里亜
- P13** 中毒患者における活性炭の効果の検討
武蔵野赤十字病院救命救急科 蕪木 友則

14:00 ~ 14:50

ポスター 4

座長

神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター 有吉 孝一
厚生労働省国立保健医療科学院 澤口 聡子

- P14** 洗濯用液体洗剤の多飲により界面活性剤中毒を疑った医薬品中毒死事例
旭川医科大学法医学講座 奥田 勝博
- P15** 家庭用アルコール製剤によって急性アルコール中毒をきたした1例
千葉県救急医療センター集中治療科 宮原 将也
- P16** 高齢者による使い捨てカイロの誤食症例の検討
公益財団法人日本中毒情報センター 柴田 実香
- P17** 農薬の経口摂取による吐物を誤嚥し呼吸窮迫症候群を呈した一例
日立総合病院救急集中治療科 白石 託也
- P18** 当院で経験したグリホサート中毒13例の検討
石巻赤十字病院救急科 瀬尾 亮太

15:00～16:40

市民公開講座

【毒ガス講談：化学テロから身を守るには】

司会

森ノ宮医療大学 吉岡 敏治

15:00 - 開会の挨拶

15:05 - 講談① 毒ガス講談『その時どうする』

上方女流講談師 旭堂小南陵

15:20 - 講演（解説）

公益財団法人 日本中毒情報センター 奥村 徹

16:20 - 講談② 救え命 化学テロ対応編『これだけは押さえておきたい勘所』

上方女流講談師 旭堂小南陵

16:35 - 閉会挨拶